

総合計画市民検討協議会 第1回報告書 (行財政運営 部会)

記録者	武澤 秀幸	場所	市役所北庁舎第 1・2 会議室	
開催日時・場所	平成23年12月10日(土) 午前10時00分 ~ 12時15分			
出席者 (10名)	小川 暁男	清水 雅英	内藤 治	松木 紀美子
	吉沢 俊夫			
	鈴木 梓平	武澤 秀幸	中村 太一	堀 宗生
	三浦 直広			
傍聴者	2名 ()			

1. まちづくりの基本理念の見直しについて

現計画	まちづくりにあたって、市民が主体で、みんなにやさしく、安心して快適に暮らすことができるよう「人間性の尊重」を基本理念とします。【総合計画 290 ページ】
見直しの視点	<ul style="list-style-type: none"> ●追加すべき内容やキーワードは <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を受けて、災害対策を基本理念に込めるために、「安全」、「災害に強い」、「減災」というキーワードを追加すべきではないか。 ・災害対応に限らず、これからのまちづくりには地域コミュニティの充実が重要であるため、「絆」、「市民協働」、「地域で支え合う」という言葉を加えたい。 ・都市像にある「住みよい」に加え、「住み続けたい」、「魅力的な」、「誇りを持つ」、「歴史と伝統の継承」を基本理念に掲げるべきではないか。 ・内容としては、市民が権利を行使するとともに、義務も果たしながら、市と一緒にまちづくりを進めるという姿勢が大切だと考えられる。 ・現行よりも踏み込んで、府中らしさを短いフレーズではっきり示してはどうか。 ・反対に、ワンセンテンスに拘らずにもう少し長い文章で記すという形もある。 ●わかりにくいなどの理由で見直すべき内容は <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなにやさしく」と「人間性の尊重」は、表現が曖昧で内容が伝わり難い。 ・加えて、「人間性の尊重」は、前半の内容から大きく飛躍していると感じる。 ●まちづくりのあり方について <ul style="list-style-type: none"> ・文言の見直しにとどまらず、まちづくりのあり方について議論を深めるべきだ。 ・都市計画という大きな観点に限らず、住民生活という身近な視点も大切である。 ・今後のまちづくりには、地域コミュニティ等のソフト面から都市基盤整備等のハード面に繋げる仕組み作りが欠かせないのではないか。 ・1人1人の市民がまちづくりについて考え、意見を出し合うには、小さなコミュニティが必要となる。 ・市民参加のまちづくりには、市からの情報のフィードバックが欠かせない。 ・全世代が地域で顔の見える関係を作り、住民同士がやさしく接し合えると良い。 ・若い世代にも地域コミュニティの重要性を認識してもらえれば、少しのきっかけで、地域に根差したまちづくりが進むのではないか。 ●総合計画の周知について <ul style="list-style-type: none"> ・後期基本計画は立派な資料だが、市民へのアピールや提供方法を工夫すべき。

事務局への連絡事項

- ・「2 都市像の見直し」は、時間が無かったため、議論に入ることができなかった。
- ・配布資料の総合計画後期基本計画は立派な資料なので、概要版を全戸配布することなどを検討しても良いのではないかと。
- ・資料については、当日渡されてすぐに内容を把握することは難しいので、次回からは事前に送付してほしい。
- ・模造紙に付箋を貼る発表形式では、他の部会の内容がよく見えないので、ホワイトボードを使って発表する形式にしてほしい。